

『心打たれる弥彦の魅力』

全校投票で弥彦の四季を絵柄に

弥彦中学校生徒会と弥彦村心の教育実行委員会が制作した平成二十九年度版の「ふれあいカレンダー」がこのほど完成。村内全戸配布に先立ち、二十日、弥彦中学校生徒会役員が弥彦村にカレンダー十一枚を贈呈した。

『ふれあいカレンダー』29年度版

弥彦中生徒会 2700世帯全戸に配布を前にまず小林村長に贈呈



小林村長にカレンダーを手渡す本間君、田中さん、桜井君（右から）

だが、「心打たれる弥彦の魅力」という題言や、ポスター図案はすべて生徒が担当。図案は弥彦の魅力を発信するというテーマで三年生八十一人が描いた作品の中から全校生徒の投票で、弥彦山や弥彦神社玉の橋、大鳥居に沈む夕日、温泉など六点を選んだ。

弥彦村への寄贈は毎年、全戸配布の前に行っており、この日は午後一時二十分ごろ、生徒会長の本間海那（ひるな）君、副会長の田中桃夏さん（ももな）、桜井郁朗君（むつら）の三人が役場を訪れ、小林豊彦村長にポスターを贈呈した。

小林村長はカレンダーを手手に、三人にテーマや図案の選考方法などについて質問し、「どうもありがとうございました」と感謝した。

本間君は「神社、新緑の季節から弥彦菊まつりの秋、色彩も自然の緑、太陽の恵みの赤と、色から見ても季節からも見て

ふれあいカレンダーは心の教育推進事業の一環として平成十年度から制作し、ことし十九年目。弥彦中学校で総合的な学習の時間を活用して作成し、全校生徒が手分けして村内に全戸配布している。

カレンダーは従来と同じく、A2判（縦約六十センチ、横約四十二センチ）のポスタースタイルで、ことし四月から来年三月までの十二か月分のカレンダーを印刷している。

カレンダー自体は印刷ターを贈呈した。

原の殺傷事件踏まえ

障害者権利擁護セミナー 施設職員研修会

障害者権利擁護セミナーは、二十一日午後一時から新潟市・ミラザで平成二十八年新潟県障害者権利擁護セミナーを開催する。神奈川県相模原市の障害者施設殺傷事件を踏まえ、施設職員が研修した。

援に対して障害者の権利擁護の意識啓発のために開催された。講師に新潟青陵大学福祉心理学部社会福祉学科をテーマに四十五分間話し合ひ、四時半に終わりました。

心打たれる弥彦の魅力

平成29年度 2017年度 ふれあいカレンダー



4	5	6	7
8	9	10	11
12	1	2	3

弥彦村立弥彦中学校生徒会・弥彦村心の教育実行委員会

squ+ 無料業務 2847 イフ 36-2823